

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

SAKURA

Since 2013

SAKURA
さくら

Vol.24
7・8月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



「真夏のこども探検隊」 Illustration Kanako Ogawa

こどもが主役の夏がやってくる！

== INDEX ==

Pick Up Artist

**劇団かかし座 後藤圭
トルヴェール・クワルテット**

『東へ西へ』

さくらプラザ自主事業レポート

名曲サロンシリーズ / JAZZ NIGHT / ロバの音楽座

連載

なるほど！ THE LEAPS の戸塚お稽古道場
ヨーロッパ演奏紀行
吹奏楽の達人
男は背中で物語る 戸塚見返親仁
出張！ 戸塚新聞



劇団かかし座 代表

ことう けい
後藤 圭

この夏、かかし座のエッセンスを詰め込んだステージをお届けします!

わたし(桑田)と劇団かかし座の出会いは2007年。コブクロの楽曲「蕾」プロモーションビデオでした。ノスタルジーを感じる手影絵が登場する切ない映像が記憶にある方もいらっしゃるかもしれません。この夏、さくらプラザホールでお届けするのは、大人も子どもも楽しめるエンターテインメント! ワクワクしながら、稽古場で代表の後藤 圭さんにお話を伺いました。

—まずは劇団かかし座結成のきっかけを教えてください。

後藤 圭(以下、略):わたしの父が かかし座の前身である「小熊座」にいたんです。その後、昭和27(1952)年に日本初の影絵劇団として「劇団かかし座」を創立しました。

終戦直後、材木座海岸にある光明寺で鎌倉アカデミアという学校があったことをご存知ですか? 「新しい日本を担う若者を育成する」という理念をもった、“大学になりかけ”のような学校です。

鎌倉アカデミアには映画監督の鈴木清順さん、声優の勝田久さんなど、戦後の文化を引っ張っていた方がたくさん学んでいたんですよ。父はその演劇科一期生で、小熊座は学内の仲間たちで立ち上げた演劇サークルでした。

昭和27年テレビ放送が開始される前にNHKの実験放送があったんですが、縁あってそちらに参加できることになり、かかし座は発足しました。そして昭和28年にテレビ本放送が開始すると同時に、かかし座はNHK専属劇団となりました。

最初は、影絵の“絵”をNHKに提供することが、かかし座の主な仕事だったようですね。それからずっとテレビ映像関係の仕事をしてきました。

昭和54年に父が亡くなったあと、わたしが引き継いだんです。東京音楽大学でフルートを勉強していた23歳頃のことでした。

—そもそも影絵はいつ頃からあったのでしょうか?

洞窟壁画の時代から影絵の歴史は始まったようです。日本で記録に残っている中で一番古いものと、江戸時代の句に「春の夜や 影人形の 初舞台」というものが残っていますね。歌舞伎の舞台にも影絵の演出が取り入れられていたようです。

浮世絵師の歌川広重も、影絵による宴会芸の指南書を書い



ていたんですよ。戦後はそんな伝統も一度途切れてしまうのですが……。西洋でも影絵遊びが描かれたカードがお菓子のおまけに付いてきたり、絵ハガキに描かれていたり。

それが様々な事情があって衰退し、影絵表現は20世紀初頭下火になったんです。カメラの発達や、映画やテレビが登場したことも理由ですね。伝統的なものは一度衰退してしまっただけで、最近ではまた映像技術が発達してきているので、影絵も活躍できていると思います。わたしたちの場合は、絵的な影絵からパフォーマンスとしての影絵まで、いろいろ影絵をやっているのですが、そのような影絵の総合カンパニーは世界を見てもここだけかもしれません。

—役者さんは芝居を学んできた方なんでしょうか?

いや、入団した時はみんな素人のようなものですね。手影絵ショーができる水準になるまでは、3~4年はかかります。10年以上続けるとショーの中で中心的な存在になれるんですね。

—今作品「ふしぎな時間 もしもの国で」の魅力を教えてください!

1番の特長は、人形などを使わずすべて手影絵で表現しているということですね。それから、映像と手影絵のコラボレーションということ。火をモチーフにしたお話なのですが、火の表現はアニメーションでやるしかありません。即興的な動きができる手影絵をそのアニメーションと合わせていくので、とても複合的なんですよ。そういうところが、ふしぎさを感じてもらえる舞台になると思います。

また、和のテイストを大事にしたいと、音楽がお囃子ということもポイントです。お囃子方という、歌舞伎の下座(効果音)や長唄の伴奏などが通常の役割で、お囃子そのものが主役になる舞台というのはなかなかないんです。今回音楽をお願いした藤舎呂英(*)さんは「お囃子だけで舞台を作りたい」という希望を持っている方で、それなら一緒にやりましょう! ということで10年位前からお付き合いがあります。かかし座のレギュラー作品で音楽を作ってもらったのは初めてですけどね。

総合すると、かかし座のエッセンスを貪欲に詰め込んだのが今回の舞台です。そのような意味でも、とても面白いと思います。

いろいろな要素があるから、小さい子から大人の方まで楽しんでいただけたらと思います。

—今作品の初演を観て、役者さん4人のフォーメーション技術がすごいと思いました。

ひとりが間違えると全体がおかしなことになってしまいますからね。それから、頭が映らないようスクリーンに手だけを上げていたでしょう? 頭を下げて、あの体勢は足腰にとっても負担がかかるんです。手影絵を演じるには体力もいるんですよ。



衣装にも注目です!



—最後に、戸塚の子どもたちへメッセージをお願いします。

戸塚にある幼稚園・保育園などに招いていただいたこともあるので、観たことがあるお子さんもいらっしゃるかもしれません。幼稚園では舞台との距離は近いですが、ホールで本格的な照明・音響が入ると印象はだいぶ変わりますよ。影絵の楽しさ・面白さがたくさん詰まった舞台を、ぜひご家族で観に来てください!

(取材・文:桑田 春花/写真:近藤 喬之)

*...藤舎呂英(とうしゃろえい)
東京藝術大学卒業。邦楽囃子方としてはもちろん、鼓のソロ演奏や様々な洋楽器との共演、創作など多岐にわたり活躍している。

劇団かかし座 夏休みファミリー公演
「ふしぎな時間 もしもの国で」

*詳細は下記をご覧ください。

好評
発売中

劇団かかし座をはじめ、家族みんなで1日楽しめるイベントが盛りだくさん!

さくらプラザ オープンデー 2017

真夏の子ども探検隊

~ようこそ もしもの国へ~

7月29日(土)

9:30 ~ 16:00

入場無料 (ホールのみ有料)

ホール 劇団かかし座 夏休みファミリー公演
「ふしぎな時間 もしもの国で」
①11:00 開演 / ②14:00 開演 (各回 1時間前開場)
全席指定 一般 1,500円 / 子ども 1,000円 (小学生以下) ※0~2歳児はひざ上鑑賞の場合のみ無料

ギャラリー フシギはっけん! SOUKI WORLD
パントマイム、楽器演奏、殺陣をミックスさせた抱腹絶倒時代劇ショー。パントマイム体験もあります!

リハーサル室 おかしな! カフェ・ド・しらていー
おかしなお菓子の世界でピアノ演奏を楽しむ参加型コンサート!

練習室1 よってって! ないしょの紙しばい小屋
みんなと同じこどもが作った
ワクワク楽しい紙しばいもあるよ☆

4Fエリア ペタペタ貼ろう! らくがきタウン
マスキングテープをつけて壁にらくがき
しちゃおう!

練習室3 ハッピーサマー♪フェイスペイント
手やほっぺたに、夏をテーマにしたかわい
ワンポイントイラストをペイントします♪

練習室4 はぎーにつづけ! キッズサンバカーニバル
簡単につくれる楽器をつけてサンバを演奏
しちゃおう♪楽器作り体験あり。



*イベントの詳細はチラシもしくはホームページをご覧ください。

宝さがしもあるよ!



会場を飾るのはみんなの作品だよ☆

造形ワークショップ

『ストローでつくる無限のかたち』

7月25日(火)10:00~11:30

会場:さくらプラザリハーサル室

講師:ドゥイ 定員:50名

★電話申込受付中(先着順)

参加
無料





世界最高峰のサクソフォン・アンサンブル集団 トルヴェール・クワルテット

須川展也/ソプラノ・サクソフォン、彦坂眞一郎/アルト・サクソフォン、
神保佳祐/テナー・サクソフォン、田中靖人/バリトン・サクソフォン
With 小柳美奈子/ピアノ

音楽の中で自由に演奏する吟遊詩人



卓越した音楽性と驚異的なテクニックで多くの人を魅了し続ける、世界最高峰のサクソフォン・アンサンブル集団。彼らが結成30周年という節目にリリースした最新CDアルバム「Topsy Tune (ティプシー・チューン)」は2016年3月にさくらプラザ・ホールで収録されました。その収録の様子や、30周年を迎えた今、メンバーについて改めて語っていただきました。

— 結成の馴れ初めをお聞かせください。

須川 展也 (以下、須川)：東京藝術大学の学生だった頃に彦坂君と後輩たちでカルテットを始めましたが、我々4人の師匠である大室勇一先生から「すごいサクソフォン奏者が居る」と聞いて一緒に演奏するようになったのが田中君です。その後、ちゃんとカルテットを結成してサクソフォン奏者として頑張っていきたいと思い、再び大室先生に相談し、紹介してもらったのが新井靖志君です。昨年、悲しいことに新井君が亡くなってしまったので、現在は新井君のお弟子さんである神保君に代奏してもらっています。



(左より) 須川展也、彦坂眞一郎、田中靖人、神保佳祐、小柳美奈子

— トルヴェールという名前の由来を教えてください。

須川：最初の頃はホールで演奏できず、たびたび街頭で演奏していたんです。それで街角で音楽を奏でているような人たちのことを意味する「トルヴェール (吟遊詩人)」を入れました。アンサンブルの活動と同時にソロの活動もしているので1人ひとりの良さをもっと出していけるよう、結成2年後からピアノ・小柳美奈子さんを入れ、プログラムの半分くらいを一緒に演奏しています。それにより活動がフレキシブルになりましたね。

— 結成 30周年という節目を迎えられましたが、何か変化はございますか？

田中 靖人 (以下、田中)：歳をとったことですね(笑)。
彦坂 眞一郎 (以下、彦坂)：自分に優しくなったね(笑)。
田中：結成した当時は緻密にシビアにたくさん練習をしてきたんですけど、最近は重箱の隅をつつくようなことはなくなりましたね。音楽の中で自由に演奏できるようになったと思います。
彦坂：ピリピリすると音楽に出るから、リハーサルのおかげからグラグラ笑っていますよ。

— いつも練習をまとめられるのはどなたですか？

須川：みんなですね。みんなで吹いて、音で語り合っている感じです。一応僕がリーダー的な舵取りはしています。来年、再来年はこういう方向性にしていこうかと投げかけたり、将来的なビジョンをみんなから引き出していますね。今年は30周年をテーマにプログラムを決めて、そのプログラムの中でそれぞれレベルアップしていこうと思っています。

— とても和やかな雰囲気です。活動されていることが伝わってきます。
それぞれお互いにメンバーについてご紹介ください。
彦坂さんから見て、須川さんはどのような方ですか？

彦坂：須川さんはいつも頭の中でいろいろなことを考えているので、話を聞いてないことが多かったりします。でもそれだけいつも先のことを考えていて、集中力のある人ですよ。

須川：空気読めないんです(笑)。
彦坂：あと、プレイヤーとしてコントロール力と音楽性が素晴らしいです！ でも最近は人の演奏をあまり聴きすぎないで欲しいなと思う瞬間があって。これまではソプラノ・サクソとして一番吹きで突っ走っていたので、やりたいことがハッキリと分かり、ついていきやすかったです。歳をとったからか最近ではまわりのことをとても気にしてくれるので、逆にもっと空気読まないでやって欲しいと思います(笑)。ありがたいですけどね。

— では、逆に須川さんから見た彦坂さんはどのような方ですか？

須川：洞察力がすごいです。自分のパートを吹いているのに、頭の中では他のパートが鳴っている。普通ではできないような特技があるんです。アルト・サクソはみんなと溶け合わないといけないときもあるし、自分を主張しなければいけない場面もあって差が激しいパートなんですけど、それも見事にコントロールしています。このカルテットのムードメーカーですね！
小柳 美奈子 (以下、小柳)：彦坂さんは思想家で、いろいろなことを調べてみんなに教えてくれます。コンサート中のトークのときにもそういうことを話したりしています。あと、ダジャレ王は彦坂さんと田中さんの二人のどちらかです(笑)。最近みんなで参戦しているんですけど、なかなか敵わない……(笑)。

— 田中さんについて教えてください。

須川：バリトンサクソはカルテットの柱ですが、これだけ見事にこなせる人は世界にもいないと思います。そして、誰にもできないくらい楽しいことをしてみんなを笑わすという、二枚目なのに三枚目なこともできちゃうという素晴らしい人です(笑)。

— 代奏で入られている神保さんについて教えてください。

小柳：とても優しい方なんですけど、ステージではやるぞっ!と気合が入っていますね。
須川：ステージに立ったときの思い切りがいいんだよね。なかなかこの歳でできることじゃないです。
田中：ちょっと大人しそうですけど、ステージでは豹変しますよ(笑)。
神保 佳祐 (以下、神保)：「トルヴェール・クワルテット」は今まで経験したカルテットとは全然違って、主張しないと埋もれてしまいます(笑)。うまく主張していけるように頑張りたいと思います！

— ピアニストの小柳さんについて教えてください。

田中：この4人であーだ、こーだしているところをうまく和らげてくれる。そういう意味で影のムードメーカーですね。
彦坂：「大丈夫!」っていう係りなんじゃないの(笑)?
田中：練習を客席で聞いてもらうことがあるのですが、「今のどうかな?」って聞くと、「イイ感じ!」と答えてくれるんですよ(笑)。お茶目なところが場を和らげてくれますね。

— 小柳さんは演奏中にどのようなことを心がけていらっしゃいますか？ 5人目のサクソフォン奏者という意識をされているとお伺いしましたが。

小柳：カルテットとピアノのときの私の役割は、支え役だと思っています。ただ、5人目のサクソフォン奏者という意識もしているので、もう一本サクソが入っているような感覚で弾いています。このカルテットと演奏するときにはいろいろなジャンルの曲もあり、トルヴェールのための曲もたくさんあるので、いつも新鮮な気持ちで演奏していますね。

— 最後に昨年 9月に亡くなられた新井靖志さんへの想いをお聞かせください。

須川：テナーサクソというパートは、ソリスティックな部分、内声、支えるという3つの役割があり難しいんです。それを誰よりも先に勉強してきて練習のときにはすでにわかっているという状態で、本当に謙虚に取り組む方でした。人柄も温かく、それが音にもあらわれていました。彼と一緒に築いてきた音楽は僕たちの財産だと思います。

— 最新 CDは、さくらプラザで録音していただきました。ホールでの演奏はいかがでしたか？

彦坂：ホールの音響がとても良かったこともあり、録音はものすごくスムーズで、早く終わったね!
須川：すごく吹きやすくて、録音するというプレッシャーがなかったです。早々と終わって、戸塚駅近辺で食べたり飲んだりする楽しい毎日でした(笑)。

— 今回の収録曲について教えてください。

須川：アマチュアの方も吹く曲、とても難しい曲(トルヴェールが今取り組んでいる曲)の両方があります。聞き手は何かコンセプトがあったほうが聴きやすいのかもしれませんが、演奏者としてはバランスの取れたCDだと思います。今のトルヴェールの両輪を見せられたCDですかね。

— CDの中でお気に入りの曲はありますか？

田中：ドビュッシー(新井靖志 編)の弦楽四重奏曲です。

小柳：私も!
田中：だいぶ前から温めてきた曲ですね。「ティプシー・チューン」は比較的新しい曲ですけど、ドビュッシーは新井君がメンバーの顔を思い浮かべてアレンジしてくれた曲です。重要なレパートリーでもあるので、一番好きですね。
彦坂：僕は「ティプシー・チューン」かな。ドビュッシーもすごく素敵なんですけど、息継ぎが大変なので好きじゃないです(笑)。
須川：弦楽器のアレンジ曲なので、管楽器で吹くとしても無理なところがあるんですね。
彦坂：僕が吹くセカンドヴァイオリンのパートは、忙しくて全然息を吸う場所がないんですよ。その反面、「ティプシー・チューン」では早いタンギングの部分が上手く吹けたので、そういう意味ですごく好きです(笑)! ふざけているように聞こえる曲なんですけど楽譜はものすごく複雑で、大変な思いをして吹いたのに聴くとそんなに大変でもないんです。そういうところも好きですね(笑)。

— 9月 8日さくらプラザ公演のプログラムについて教えてください。

須川：トルヴェール・クワルテットからの挨拶を込めて「My Favorite Things」で始まります。少しジャズテイストを加えているので、聞いているみなさんの気持ちが上がると嬉しんです。そのあとにサクソフォン奏者が憧れる曲「グラヴェとプレスト」。続いては、「ラヴェル/新井靖志:弦楽四重奏曲」より何曲か演奏します。あとはみなさんご存知の、少しポップにした親しみやすいホルストの「木星」が入っています。このコンサートはサクソフォンの豊かな響きと迫力で、クラシックを聴き慣れていない学生さんなどにもきっと楽しんでいただけたと思います。楽しい音楽から美しい音楽まであるので、是非聴きに来てください!

— ありがとうございます。

(取材・構成:石村 里美)

さくらプラザホームページで、トルヴェール・クワルテットの演奏付きメッセージ動画を公開中!



トルヴェール・クワルテット
結成30周年 & 最新CD発売記念 コンサート
2017年9月8日(金)18:30開演(18:00開場)
*詳細は裏表紙をご覧ください。



『東へ西へ』

第8回 俣野別邸 ～「パーマネントと結婚十訓」あるいは「1939の片思い」～

文・写真 田中啓介／画 大野愛



最終バスに乗って、誰かが帰ってくる。あるいは、帰っていったのか。

私は、再建されたばかりの別邸でひとり、往時に思いを馳せる。食堂と居間はカフェになっていて、大きな窓の向こうに広い庭を見ながらコーヒーやケーキを楽しむことができる。

建物の主要部分は焼失したものの、建具や照明器具など一部の部材はオリジナルが使用され、主な部屋の造りや仕上げもオリジナルを忠実に再現している。食堂の天井板には彫刻が、居間の柱は赤く、壁には小さな暖炉、隣のサンルームには陽射しがあふれ、和洋折衷のモダニズムが美しい調和を見せている。オリジナルの建設当時もきっとこんな感じだったのだろう。

1989年のヒット曲に「1969の片思い」（作詞は秋元康）という歌がある。稲垣潤一が歌うその主人公が初めにポニーテールの彼女に片思いした1969年。そこからわずか30年前にこの家が建てられ、そしてその年に第二次世界大戦が始まった。

1939年。日本の国内にも戦争が暗い影を落とす。

昭和14年。私は、東京を離れ横浜の外れにある別邸にやってきた。邸内には誰もいない。使用人もまだ雇われ

ていない竣工間もないそんな頃。最終バスに乗って、誰かが帰ってくる。あるいは、帰っていった後の静寂と孤独。

庭を眼下に望む2階の一室に私はいる。部屋の端は半円形になっていて、1階のサンルームの外にあるテラスの上に張り出している。邸宅を囲む森から鳥のさえずりが聞こえ、木々の向こうには遠く丹沢の山脈（やまなみ）が見える。昼下がり。太陽は高い。



食堂



階段

目の前のテーブルには、読みかけの雑誌が読み止しのページを開いたまま伏せてある。雑誌は「文学界」の最新号で、昨年から連載が始まった三木清の『人生論ノート』のページだ。

窓の外では、鶯の笛鳴きが遠く近く繰り返す。私は『人生論ノート』の中の「幸福について」の一節を思い出すだろう。

『幸福は人格である。(中略)鳥の歌うが如くおのずから外に現われて他の人を幸福にするものが真の幸福である。』

文学界の横には、アルマイトの弁当箱が置いてある。とりあえずカバンから出したものの、蓋を開ける気さえ起きない。中身は見なくても分かる。ご飯の中央に梅干し一つを置いた「日の丸弁当」だ。戦地の兵隊さんの苦勞をしのび感謝の意を表そうと日の丸弁当が強制されたのもこの時代。強制されて始まった日の丸弁当だが、質素倹約の時代が終わり飽食の時代になっても、しっかりと生き残っていくことになる。

質素倹約といえば、ネオン、パーマネント廃止など「生活刷新法案」が決まったのもこの年。髪にウェーブがかかっていると、子供たちからも「パーマネントはやめましょう。」と言われ、髪型までが国家に統制された。パーマが贅沢なんて感覚自体が、21世紀にはもうピンと来ないかもしれない。

そして1939年(昭和14年)9月30日、子供を増やそうと厚生省予防局民族衛生研究会が発表したのが、『結婚十訓』。「産めよ殖やせよ国のため」が有名だが、その他にも「なるべく早く結婚しましょう」とか「式は質素に届けはすぐに」なんてものもある。

そんな『結婚十訓』の中に、21世紀にも役立ちそうな一句がある。少子化晩婚化が進む時代にこそ、この一句は変わらず生き続けてほしいと願う。

「一生の伴侶として信頼できる人を選びましょう」

気が付くと、木々の向こうへと陽は傾き始めている。コーヒーはもうすっかり冷たくなってしまった。もう一度、食堂の天井を見上げる。1939年の誰かも、きっとこの場所でコーヒーを飲みながら、この天井板の彫刻を見上げていたことだろう。



2階展示室

『1969の片思い』の主人公が、片思いの彼女とこの別邸にやってくる。ポニーテールの彼女は、もう30半ばだが20年前のあの頃とあまり変わっていないように見える。この建物が、1939年とあまり変わっていないように。

そこに1939年の世界から誰かが時空を超えて現れる。きっとこの邸宅に招かれた客の一人だ。女は食堂の入り口で立ち止まりパーマネントの髪を物憂げにかき上げながら、ポニーテールの彼女が通りかかのを待っている。

ポニーテールの彼女が、片思いの彼と食堂に入ってくる。すれ違いざまパーマネントの女がポニーテールの彼女の耳元でそっとささやく。

「なるべく早く結婚しましょう」

そんな白日夢が不思議と似合う、そんな場所だった。

俣野別邸庭園

横浜市戸塚区東俣野町80-1

《問合せ》

俣野別邸庭園事務局

TEL: 045-852-8038 / FAX: 045-852-8048

《公式ホームページ》

<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/park/matanobettei/>



田中啓介
Keisuke Tanaka

現在、(株)神奈川共立施設事業部長。
STスポット、栄区民文化センター、広島県三原市芸術文化センターにおいて館長兼事業プロデューサーを歴任。
戸塚区民文化センター前館長。



大野愛／画家
Megumi Ohno

横浜生まれ、横浜在住。風景画をメインにシマシマ油彩画を制作。Ai名義で日本画も手がける。

《個展》

2016.10月 「また来む秋は」 ミーツギャラリー(銀座)

2016.4月 「星の手向の」 JazzSpot J(新宿) etc...

《今後の予定》7/3(月)～9(日) 個展 幸伸ギャラリー(銀座)

名曲サロンのあゆみ

—どこかできくと耳にしたことのある馴染み深い名曲を、
演奏者の息づかいまで聴こえるような距離で。

2016年6月～開催
各公演①11:30/②14:30 *2回公演
さくらプラザ・リハーサル室

名曲サロンとは若手演奏家がさくらプラザ リハーサル室というサロンの空間で、毎回その時季に合わせたテーマで、演奏家自身による曲解説とともに楽しい時間をお贈りするコンサートです。
今年の6月で1周年を迎えました。これまでのコンサートのあゆみをご覧ください。

Vol.1

『雨の日に聴きたい弦楽四重奏曲』

2016年6月23日(木) 入場者数:①68名/②73名
出演/さくらプラザ サポートアーティスト ルナーリア弦楽四重奏団

♪プログラム♪
モーツァルト: アイネ・クライネ・ナハトムジーク ト長調 K.525 より 第1楽章
ラヴェル: 弦楽四重奏曲 ヘ長調 より 第1、2楽章 他

Vol.2

『夏を彩る美しきヴァイオリンの調べ』

8月24日(水) 入場者数:①71名/②81名
出演/さくらプラザ サポートアーティスト 大澤 理菜子 (Vn)
吉原 清香 (Pf)

♪プログラム♪
ヴィヴァルディ: 四季より夏
ワックスマン: カルメン幻想曲 他

Vol.3

『口笛で楽しむ懐かしの日本のうた 秋&冬』

10月20日(木) 入場者数:①52名/②78名
出演/高橋 一真、エレナ

♪プログラム♪
赤とんぼ、秋メドレー (小さい秋みつけた/村祭り/里の秋)
荒城の月、見上げてごらん夜の星を 他

Vol.4

『ゴスペル イン クリスマス ～最高にハッピーなアーリークリスマス～』

11月19日(土) 入場者数:①64名/②66名
出演/Sing for life choir 戸塚

♪プログラム♪
<第1回目>
Silent Night、花は咲く 他
<第2回目>
Amazing Grace、世界に一つだけの花 他

Vol.5

『ヴァイオリンとコントラバスで奏でる 上質なポップ・クラシック』

12月21日(水) 入場者数:①62名/②65名
出演/vallote(パロテ)

♪プログラム♪
<第1回目>
チャイコフスキー (vallote 編曲): くるみ割り人形より「トレパーク」
フランツ・クサーヴァー・グルーバー: きよしこの夜 他
<第2回目>
フレッド・クーツ: サンタが町にやってくる、葉加瀬 太郎: 情熱大陸 他

Vol.6

『とつかシューベルティアード ～若き演奏家が奏でるシューベルトの世界～』

2017年2月8日(水) 入場者数:①54名/②64名
出演/菊地 美涼 (Pf)

♪プログラム♪
モーツァルト:
フランスの歌曲「ああ、お母さん聞いて」による12の変奏曲
(きらきら星変奏曲) ハ長調 KV.265
シューベルト: 白鳥の歌より「セレナーデ」(リスト編曲) 他

Vol.7

『チェロが奏でる春の訪れ』

4月20日(木) 入場者数:①58名/②64名
出演/さくらプラザ サポートアーティスト 増山 頌子 (Vc)、
秋元 孝介 (Pf)

♪プログラム♪
J.バッハ: ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタ第1番 ト長調 BWV1027
黛 敏郎: BUNRAKU 他

Vol.8

『フェリス・フラウエンコーア ～山手の丘から歌の花束～』

6月11日(日)14:00 開演 *約2時間公演 入場者数:428名
会場: さくらプラザホール

出演/フェリス・フラウエンコーア

いつものリハーサル室を
飛び出して、
ホールにて名曲サロンを
お届けいたしました!



♪プログラム♪
《日本の名曲アルバム～春から夏へ》
すみれの花咲く頃、花の街～夏の思い出 他
《日本歌曲から歌謡曲へ》
初恋、長崎の鐘 他
《歌でつなぐ神奈川・横浜めぐり》
浜辺の歌、ブルーライトヨコハマ 他

《星野富弘の世界》
「富弘美術館テーマソング」風の旅、今日もひとつ
《日本の名曲アルバム～昭和の歌姫たち》
赤いスイートピー、オリビアを聴きながら、恋のフーガ 他

この日は満席となったさくらプラザホールに、花が舞うようなきれいな歌声が響きわたりました。
誰もが1度は耳にしたことのある数々の日本の名曲とともに、彼女たちのチャーミングなトークも
たっぷりとお楽しみいただけましたでしょうか? 今後の名曲サロンも乞ご期待!

今後の名曲サロンラインナップ

【各回共通】[会場] リハーサル室 [時間] 第1回 11:30 開演/第2回 14:30 開演 (各回 45分間)
[チケット料金] 各回 800円 (定員 70名)

Vol.9 8月24日(木) 『マリンパで聴く夏の名曲～TONESが奏でるエネルギッシュな音色～』

出演/TONES(木村 奏子、平野 有希子、小畑 寛) ※好評発売中

Vol.10 10月25日(水) 『Trombone Quartet 虎徹 Kotetsu が贈る至福のひとつとき』

出演/トロンボーン・カルテット虎徹(覚張 俊介、竹内 優彦、飯田 智彦)

賛助出演:小篠 和弥

※8月25日(金)14:00から電話予約開始

速報! 12月の名曲サロンはさくらプラザホールで開催決定!

Vol.11 12月3日(日)

BS-TBS「日本名曲アルバム」にレギュラー出演中の

洗足学園音楽大学 コール・ファンタジアが登場!

※詳細は8月頃公開予定

JAZZ NIGHT

2017年3月24日開催
—JAZZの魅力、そして音楽を通じて喜びを運ぶ2時間— ワールドツアー— さくらプラザ・ホール

出演者：Grace Mahya (Vo、Pf)・渡辺 裕之 (Dr)・楠井 五月 (B)



早春の夜に聴く JAZZ お楽しみいただけましたでしょうか？
「Kiss of Life」「Englishman in New York」でイギリスから出発、ドイツ、ブラジルそしてアメリカへ。

第二部はロシア「Dark Eyes」からスタート。
そろそろ日本が懐かしくなった頃……
「あんたがたどこさ」「さくら」「My favorite things」3曲をメドレーでお届けしました。熊本にも届いたでしょうか？
メンバーの普段の様子なども垣間見れる愉快的トークを楽しみながら、世界旅行を堪能。



「What a wonderful world」 (日本語訳「この素晴らしい世界」)

ワールドツアー最後にふさわしい、しっとりとした歌声に聞き惚れます。

草原、たくさんの星が降り注ぐ夜空、この曲を聞いて、美しくかけがえない世界が浮かんできたのではないのでしょうか？

お客さまからの声をご紹介します ※アンケートより抜粋

- ・世界の旅を共にトリオの素敵な演奏と歌聴けて最高でした。また戸塚で再演してほしいです。
- ・三人の演奏もさることながらマーヤさんのトークが自然で親しみやすくてとても楽しい時間をありがとうございました。
- ・渡辺裕之さん、存じ上げていましたがドラマーということは知らず興味本位で聞きに参りました。演奏内容も良かったですが、渡辺さんの生き方に感銘を受け重ねて感動的な一日でした。ワールドツアーよい企画でとても楽しかったです。これほど異なる素敵な個性溢れる曲があるのかと感じ入りました。

多くの方のご来場、誠にありがとうございました。

名曲を集めた JAZZ SONG で巡る 2 時間のワールドツアー。「この曲の国に行ったことがある人？」と客席に問いかけると、たくさん手が挙がります。そして、お客さまと一緒に手を挙げるドラムの渡辺裕之さん！
さすが俳優さんですね、さまざまな国に行かれた経験が offensichtlich あります。

そして渡辺さんといえば、あの国民的テレビCMを思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。
そう！ 栄養ドリンクリポビタンDのCMでのフレーズ「ファイト〜一発!!!」
会場が一つになりましたね。



～JAZZ NIGHT with Grace Mahya & 渡辺 裕之 セットリスト～

- ・ Kiss of Life
- ・ Englishman in New York
- ・ Bei mir bist du schön
- ・ Recado Bossa
- ・ Ipanema
- ・ A' Train
- ・ Route66
- ～休憩～
- ・ Dark Eyes
- ・ Quien Sera
- ・ Poor Butterfly
- ・ Antagata dokosa・SAKURA・My favorite things
- ・ La vie en Rose
- ・ Caravan
- ～アンコール～
- ・ What a wonderful world

子どものためのコンサート

ロバの音楽座

森のオト

2017年5月3日(水・祝)開催

さくらプラザ・ホール

ゴールデンウィークに子ども向けのコンサートを開催。絵本の中のような可愛らしいステージや不思議なかたちの楽器がたくさん登場しました。自分で作った楽器を使ってコンサートにも参加してもらいました！

【ワークショップ】 空想楽器「ブンパカパッパ」を作ってみよう！



50名のお子様に参加した楽器作りワークショップ。
出演者 兼 講師の長井和明さん、富田りぐまさんから作り方を教わります。
材料にはヤクルトの飲み口部分や不要になったチラシを使用しました！



さあ！音が出るかな……♪
頬を膨らませながらたくさん息を吹き入れます！
「プー！」ほら貝のような音が鳴りました！

楽器が完成して音が出たところで、コンサート会場に行き練習。
このあと「ブンパカパッパ隊」として、コンサートに臨みます！

ロバの音楽座 メンバー
まつもとがりゅう うえのてっせい とみた ながいかずあき おおみや
松本雅隆、上野哲生、富田りぐま、長井和明、大宮まふみ



【コンサート】 森のオト

「プー ウー プー もうい〜かい？」
「プー ウー プー まあ〜だよ！」
ブンパカパッパ隊の演奏と掛け声からスタート！



そして暗やみの中からロバの音楽座が登場！
幻想的なステージと優しい音色に子どもたちは引き込まれていました。



♪「ある日、カブトムシが 教えてくれた曲」

カブトムシの角を着けて、
「カタカタ」と音を鳴らしながら、
可愛らしい音楽を奏でました！



大きくなったら「さかな博士」になりたい、という男の子。
男の子の願いが叶うよう、
ロバの音楽座と会場のみんなで
歌をプレゼント！



終演後にはホワイエで「ブンパカパッパ」を吹きながらみんなで行進！

最後までたのしんでもらえたかな？
またさくらプラザに遊びに来てね♪



華麗実存—台湾新美術展によせて《前編》

8/9(水)～8/14(月)10:00～17:00(初日14:00から/最終日14:00まで)
さくらプラザギャラリーAB

主催：台湾アーティスト現代展実行委員会
運営：儒墨堂株式会社(日本・東京都)
共催：虎之助デジタル・テクノロジー有限公司(台湾)、儒墨堂文化事業有限公司(台湾)
http://yokohama.rumotan.com/

文：儒墨堂株式会社(日本)、
虎之助デジタル・テクノロジー有限公司(台湾)
社長 王穆提

8月9日から1週間、さくらプラザ・ギャラリーにて、台湾の現代画家37名の油絵作品展覧会が開かれます。メインは女流画家です。ぜひご覧ください。キュレーターの方々が当誌のために原稿を寄せてくださいました。2号に分けてご紹介します。

台湾アーティスト現代モダン：

台湾現代アーティストの成長の背景とアート創作の様相は、それぞれ異なったものとなっています。しかし、その創作は本質的な精神において、非の打ち所のない新オリエンタリズムの文化コレクションとなっているのです。

オックスフォード学派のデレックは、オリエンタリズムの歴史の水脈を分析する際、プラット(Mary Louise Pratt)が説いた「接触領域(コンタクトゾーン)」という空間概念を用いています。すなわち「植民によって遭遇する空間で、地理と歴史上において分離されている民族が相互に接触し持続的な関係を築き上げた領域を指し、通常は弾圧を伴い、極端な不平等や消し去り難い衝突が生まれる状況」という概念です。

まさに台湾は、数百年来の歴史において、この「接触領域(コンタクト・ゾーン)」となり、東西文化における新オリエンタル主義、つまり現代モダンを自身の文化として生み出したのでした。過去から現代に続くパターン化された形式や制約を受けることがない、現代のモダンといえるものであり、意識の流れから受け取った文化の多様性を体現しているのです。



卓淑倩(Chuo Sue-chien)「Dante」

台湾現代アート創作の発展動向：

台湾は、世界的にはアジア太平洋地域における辺境地帯に位置しながら、一方で各種の文化が交錯と融合を重ねる地域でした。学説では、台湾の原住民の歴史は1万5000年前から氷河期末期にまで遡るとされており、人々は主に東南アジアの島々から台湾に移り住んできたのです。そして、台湾原住民に加え、大陸各地から移り住んできた移民との間で継承と融合が行われる一方、現代に至ると、東南アジアの民族が新住民として次第に台湾に溶け込んでいくことになり、さらにはオランダ、スペイン、日本等、異なる時期で民族文化の衝突による融合を何度も経験したのでした。

台湾は芸術文化においても、多様性と生命力、そして新オリエンタリズムを内包した現代モダンの要素を持ったものへと自然に進化が見られています。もともと有していた要素の下で、かえって各種文化の融合が可能で恵まれた条件を有していたことで、台湾アーティストは現代クリエイターのなかでもニッチ(*)な存在となっているのです。

台湾アーティストは、創作活動のうえで、二度と伝統絵画の形式に



台湾・台北

よる制約を受けることはありません。高度な運動エネルギーで芸術自体が設ける枠組みの制約を突き破り、もっぱら創作者自身と作品の対話という形式によってその創作を用い、現在の意識の流れを説明しているのです。過去を往來する歴史文化において常用手段とされたものを採用しないだけでなく、その意義が現代社会から唯一与えられているというわけでもありません。現代のモダンであり、それがゆえに存在性のある生命芸術体となっているのです。

台湾のアーティストは、多元化された文化の変遷と交差を何度も経てきており、とうの昔に各種多様な媒体によって、その作品自体が持つテーマを表現し、顕著な露出や解説を行ってきたのでした。

現代モダンとは、台湾アーティストがその後ずっと自己表現と創作表現を行ううえで、西洋文化における常用手段や制約を受けることなく、思うがままに活動を進めることができるのです。台湾で芸術に携わる人々たちにとって、この個人と台湾美術の集団意識は、一般的に言えば、すべて「心中心外」(心の中と心の外)、「非西非中」(西洋でなく中華でもあらず)、「亦西亦中」(西洋文化もまた中華文化)といったところに集められており、甚だしきは、「中西二表」(中華と西洋文化の外層)を超越しながら、その内面に融合が見られるのです。しかし、その核心となる価値は、すなわち台湾の現代のクリエイターが主体となっています。

一部のクリエイターの作風の起源は、多かれ少なかれ表現方法においてヨーロッパやアメリカなどの西洋、あるいは東洋の大陸にあるといえますが、しかし台湾アーティストの生命の流れは、依然として水のように、波のように、そびえるように、上のように存在し続け、紡がれてきたのです。これがすなわち無尽蔵に湧き上がる芸術の創作性なのです。

台湾は決して理解し難い混沌とした時間軸の上にはありません。百家争鳴の風貌によって、次第にそれが属する現代の存在性が刻みつけられていったことから、かえって風貌の継承が同時に保たれることになりました。

一方、新生する芸術において、その多元性ある超越した媒介材料やフィールド、自ら有する流派の風貌がともに示されることになったのです。これが正に台湾アーティストによる現代モダンの美学上の意義だといえます。《次号へ続く》

*ニッチ…市場全体の一部を構成する特定のニーズ(需要・客層)を持つ規模の小さい市場のこと。「隙間市場」ともいう。



戸塚お稽古道場

Vol.2



ダンスを習う前にまずはストレッチ!
音楽に乗せて♪先生の動きに合わせて全身を動かしていきます。「ううう……身体が痛い〜!」日頃の運動不足が感じられます(汗)。でも不思議!音楽に合わせてテンポ良く動くため、ストレッチも楽しく!気持ち良く!進みます☆

全身の筋肉もほぐれてきた所で(この時点で結構な汗!)次はダンスを踊るための基本的な動きを学びます。首や胸、お尻など身体の一部“だけ”を動かす方法や、それらを合わせた動きや、ステップなどを学んでいきます。先生の動きを鏡越しに見ながら、ふたりとも見よう見まねでもそれなりに、ダンスっぽい動きになってきました〜!



ダンスのいろはを身体に入れたら、いよいよ!曲に合わせてダンス!ダンス!課題曲は私たち THE LEAPS の楽曲「ファンタスティック RADIO」(CD も絶賛発売中♡)に合わせて、ゆり先生が振り付けをつけてくださり、いざ……!!!!… THE LEAPS とゆり先生が踊る「ファンタスティック RADIO」は動画サイト YouTube のさくらプラザのチャンネルからチェックしてね♪

またまた1つレベルアップしたTHE LEAPS。次回はどんなお稽古道場へ行くのでしょうか!お楽しみに♡
Don't miss it!! だYO!!! (以上、ダンスバージョンでお届けしました♪)



協力：ダンススタジオUNISTA(ユニスタ)
小、中学生のレッスンコースはもちろん大人向けのヒップホップ、ジャズダンスクラスや高齢者、障がい者クラスなどもある、幅広い世代の方に向けたお教室です。未経験の方でも楽しく分かりやすくレッスンしていただけます♪体験レッスン随時受付中!
詳しくは <http://dance-unista.com> をチェック!
【お問い合わせ】
TEL: 045-392-5120

THE LEAPSのリニューアルした連載! “なるほど! THE LEAPS-戸塚お稽古道場-” 色々なことを学んで! 体験して! このコーナー 何と第2回目は「ダンス」を学びます! 早くも波乱(事故?)の予感!?! どうなる! リーブスちゃん!?

今回のお教室は「ダンススタジオ UNISTA(ユニスタ)」。場所は戸塚駅から目と鼻の先! トツカーナモール地下1階にあるダンススタジオからインストラクターのゆり先生にお世話になります〜☆

まずはゆり先生から「おふたりはダンスの経験はありますか?」との質問が…… 「……ダンスのイメージはモーニング娘。で止まっています。」(by MAYOU)

うん! 全くの未経験からのスタートです……(笑)。

今回はHIP HOPのダンススタイルを学ぶことに♪

さあ! 始まるYO!!!



ゆり先生

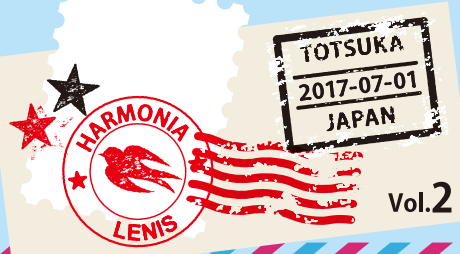


THE LEAPS(ザ・リーブス)
横浜市戸塚区出身・幼なじみ同士のGt&Vo. MAYOUとDr&Vo. NANA-Aからなる2ピースバンド。7/28(金)には横浜The CLUB SENSATIONにて久しぶりのワンマンライブを開催!
■オフィシャルホームページ <http://theleaps.net>

LES TIMBRES & HARMONIA LENIS

水内謙一のヨーロッパ演奏紀行

レ・タンブル&ハルモニア・レニス
Les Timbres & Harmonia Lenis



Vol.2

皆さまこんにちは！ 連載 2 回目の今回は、私たち「レ・タンブル&ハルモニア・レニス」が昨年7～8月に行ったフランスツアーの様子をお伝えしたいと思います。

2 台のチェンバロとオルガンをはじめ、すべての楽器を大型車に詰め込み、演奏者たちも乗り込んで皆で 9 つの音楽祭を巡りました。3000m 以上の山々がそびえるエ克蘭山群の麓にある町ヴァルイーズ、南フランスの避暑地ラボーム、スペインへの聖地巡礼路の町ラ・ロミューなど、フランス各地の美しい自然を楽しみながらのツアーでした。

ヨーロッパらしいのは、コンサート会場のほとんどが教会ということです。(写真 1) ヨーロッパの教会は見た目も重厚ですが、響きが良く、地元の方のお話では残響 7 秒以上という教会もあり、自分の出した音の余韻を聴きながら演奏することができます。

特に印象に残っている町は、シミアヌ・ラ・ロトンドという中世の趣の残る町で、丘の頂上にあるお城でコンサートを行いました。写真 2 はお城の外観。岩のようなシンプルな建物に驚きましたが、中へ入ると素敵なホールが……。 (写真 3) トルパドゥール(吟遊詩人)たちが王に招かれて演奏していたホールでのコンサートは、感慨深いものがありました。

今年の秋にはフランスからこのメンバーが日本ツアーにやってまいります。さくらプラザにて皆さまにお会いできることを、メンバー一同楽しみにしております！



写真2



写真1



写真3

甘美なるイタリア・バロック 2017年10月28日(土)14:00開演(13:30開場) 予定 *詳細は裏面をご覧ください。

さて、前回は吹奏楽との出会いについて簡単にお話ししました。今回はその続きをもう少しお話ししたいと思います。

当時、港南中学校の吹奏楽部ではトランペットではなくホルネットという、イギリスやフランスで発達したサクソルン属(円錐形の楽器)に属する柔らかい音色を持つ楽器を使用していました。先輩達が奏でるその楽器の音色に、本当に魅力を感じました。正に自分の担当するホルネットや吹奏楽の合奏の楽しさに没頭する毎日でした。

コンクールや定期演奏会、文化祭や地元での区民コンサート等、伝統校だったのでたくさんのステージをこなし、充実した3年間を過ごすことが出来ました。その後高校に進学するわけですが、今振り返ると高校進学も吹奏楽を続けたくて学校を選んだ気がします。当時、近くの県立野庭高校に「凄い指導者が来た！」との評判が広がっていました。港南中学校から野庭高校に進学した先輩達も多く、自分もそれならと意気込んで野庭高校に進学しました。

そこで『3 人の恩師との出会い』の二人目、中澤忠雄先生とのこれまた衝撃的な出会いがあったのです。

初対面でかけられた言葉「君らが 3 年になったら野庭は日本一のバンドになるんやで！」。長年プロのチューバ奏者として活躍されてきた中澤先生の指導は豪快かつ、情熱と愛情溢れるもので、感動

吹奏楽の達人

達人 Vol.2



野庭高校時代の杉本さん



の毎日でした。決して妥協しない、最後まで諦めない熱心な指導でした。『音楽は心』が先生の全てでした。『吹奏楽(音楽)は一人の力ではなく、みんなで心をひとつにして演奏することで人々を感動させるもの』であると。(つづく)

トランペット奏者 杉本 正毅
Masaki SUGIMOTO

TBS 系ドラマ「仰げば尊し」モデルである神奈川県立野庭高等学校卒業後、東京音楽大学で津堅直弘氏に師事。東京吹奏楽団で演奏する傍ら日本の主要オーケストラやミュージカル等、また海外アーティストのツアーでも演奏活動をしている。現在、東京吹奏楽団トランペット奏者、洗足学園音楽大学、上野学園大学各講師。日本トランペット協会常任理事。ナカザワキネン野庭吹奏楽団音楽監督。



男は背中 は物語る

戸塚見返親仁

商店のご主人など、戸塚区内で働いているオヤジ世代をご紹介します。

其之二十五

パン工房「トロンボーン」の佐藤 蒼です！

アピタ戸塚店よりすぐ、住宅地の中にあるパン屋さん「トロンボーン」。優しい笑顔の若さ溢れるご主人、佐藤さんにお話を伺ってきました。

人気の天然酵母あんぱん



顔見世

「トロンボーン」という店名の由来は？

よく「トロンボーンをやっていたのですか？」と聞かれますが楽器はまったくやったことがなく、昔飼っていた犬の名前が「トロンボーン」でしたので店名にしました。

一どのパンが人気商品でしょうか？

ずっと変わらず人気があるのが「天然酵母あんぱん」です。

一あんぱんは一見フランスパンのようにも見えますね。

全粒粉が多く入っているため黒っぽいのでそう見えますね。

あんこは「茜丸」という製造会社の一番良いものを使っています。

あとは「メロンパンアイスクリーム」が学生さんに好評です。

熱いメロンパンに冷たいアイスクリームを挟んだもので店頭でのみ販売しています。



一自家製の天然酵母についてお聞かせください。

だいたい 3 種類の酵母を使っていて、レーズンと米麹、もう一つは季節によって換えています。天然酵母もそうですが、当店では保存料や添加物を一切使用していないので、小さなお子さんを連れた方がよく買いに来られます。なので店内もベビーカーで入りやすいようにスペースを広くしています。

一ご主人の心遣いがとてもうれしいですね。お話を聞かせていただきありがとうございます！



☆車で移動販売もされているそうです！(夕方 16 時～17 時頃から約 2 時間)

親に逢いにしよう！

パン工房「トロンボーン」

横浜市戸塚区上倉田町 1031-5

TEL:045-864-3308

営業時間 10:00～19:00

定休日 日曜・月曜



次号の親仁は・・・？

出張！戸塚新聞

webマガジン「戸塚新聞」の出張版。戸塚区のディープな情報を鋭意取材中！詳しくは「戸塚新聞」で検索！

#09 喫 ひだまりガーデン

俣野別邸庭園に「ひだまりガーデン」という美しいカフェがオープン。近辺には素敵なカフェがあまりないせいか、繰り返し利用するお客さんも多いそうです。国道1号線を折れてすぐ、藤沢市との境に位置しています。駐車場から園内に入り、少し進むと左手に登り階段があります。高台にそびえる本邸。玄関から本邸に入ると受付があります。カフェのみ利用の場合は、入館料は不要。その旨を告げれば

カフェスペースへ案内されます。「ひだまりガーデン」というカジュアルなネーミングから想像していたよりも、ずっと落ち着いた雰囲気のある大人の空間でした。室内・テラスそれぞれに20席ずつ。まるでホテルのような内装は優雅な気分させてくれます。公益財団法人横浜市緑の協会職員の石引さんは飲食関係の現場に40年もいたベテラン。

普段は女性スタッフのみで運営できるよう、メニューはシンプルな構成にしているそうですが、今後は利用者の反応を見ながら季節限定品なども考案中だとか。石引さん：「この素晴らしい環境の中で美味しいコーヒーを飲んでくつろいでいただこうと、特にコーヒーにはこだわりました」

...続きはwebで

戸塚新聞 ひだまりガーデン 検索



今回取材したお店

ひだまりガーデン
横浜市戸塚区東俣野町80-1
Tel:045-852-8038
営業時間:10:00～15:30

Information
「戸塚新聞」とは
戸塚区の情報満載のWebマガジン。知っているようで知らない「戸塚」の魅力的な情報を発信。戸塚新聞のすべての記事を読みたい人は「戸塚新聞」で検索！

戸塚新聞 検索



隔月、金曜夜8時、ベートーヴェンのピアノの調べに酔いしれる。

若林 顕セルフプロデュース
ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 全32曲
ラストシーズン

Vol.20 7/21(金) 全席指定
Vol.21 9/29(金) 各回20:00開演 前売 2,000円/当日 1,500円
学生 1,000円

※各公演、前売券以外はさくらプラザのみでの販売となります。

アンコール Vol.3

11/10(金)19:00
全席指定 前売 3,000円
当日 2,500円
学生 1,000円



4年にわたるシリーズもついに最終回!
19時より2時間のプログラムでお届けします。

劇団かかし座 夏休みファミリー公演
「ふしぎな時間もしもの国で」

7/29(土) [第1回] 11:00 / [第2回] 14:00
全席指定 一般 1,500円(中学生以上)
こども 1,000円(小学生以下)
※0~2歳児はひざ上鑑賞の場合のみ無料
【同時開催】 さくらプラザオープンデー 2017
真夏のこども探検隊 7/29(土)9:30~16:00



共催 **春風亭小朝 独演会**

8/19(土) 13:30
全席指定 3,500円
*窓口販売のみ



結成30周年 & 最新CD発売記念
Trouvère Quartet Concert
トルヴェール・クワルテット with 小柳 美奈子

9/8(金) 18:30
全席指定 一般 3,000円
横浜市民 2,500円
学生 1,500円



ピアノグランプリ2017受賞記念演奏会
〜ルナーリア弦楽四重奏団とともに〜

《ピアノグランプリ2017 受賞者》
堀江 明子、服部 貴美子、渡辺 まこみ
ルナーリア弦楽四重奏団
10/9(月・祝) 14:00
全席指定 1,000円



甘美なるイタリア・バロック
バッハ、ヘンデル、ヴィヴァルディへの道
レ・タンブル&ハルモニア・レニス

10/28(土) 14:00
全席指定 一般 3,000円
ペア 5,000円
学生 1,500円



東京六人組コンサート
室内楽の調べ

11/5(日) 14:00
全席指定 一般 3,000円
横浜市民 2,500円



秋のさくらプラザ寄席 第2回
五人の真打による
庚寅長月の会 戸塚公演

11/12(日) 13:30
全席指定 一般 2,500円
横浜市民 2,000円



名曲サロン シリーズ

各公演ともに 第1回 11:30 / 第2回 14:30
全席自由 800円
会場:リハーサル室

Vol.9 マリンバで聴く夏の名曲
〜TONESが奏でるエネルギッシュな音色〜

8/24(木) TONES(マリンバ・パーカッショングループ)

Vol.10 トロンボーンカルテット 虎徹が贈る
至福のひとつき

10/25(水) 虎徹(トロンボーンカルテット)



夢いっぱいシリーズ Vol.4
ハッピーるんるん 親子であそぼ♪コンサート
9月号

竹田 えり(作曲家・歌手・声優)
9/22(金) 第1回 10:15 / 第2回 11:30
全席自由 300円
(0歳より有料)



5・6月号の【戸塚見返親仁】で紹介されている「和楽器のぼる」があるのは、なんと私の住んでいるアパートから数分の場所。自分の部屋でまさか和楽器を弾ける環境ではありませんが、一度手にとってみたいという気持ちが湧き起こりました。近所には妙秀寺がありますが、お祭りやお正月の獅子舞で使われる和太鼓などにこの店も関わっているのかと、興味津々になりました。これからも和楽器の広まりに貢献し続けて欲しいです。
【ペンネーム: 春野 葉桜】

掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演
チケット*をプレゼント!

*ご要望に沿えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

- 氏名 ●掲載用ペンネーム ●ご住所 ●お電話番号 を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。
- ※ご記入いただいた個人情報は、当コーナーの目的以外には使用いたしません。※200文字程度におまとめください。
- ※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただく場合がございます。

戸塚区民文化センター さくらプラザ

TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17 戸塚区総合庁舎 4F

http://www.totsuka.hall-info.jp

event@totsuka.hall-info.jp

編集後記 今年も夏のオープンデーの季節がやってまいりました! こどもたちの心に残る体験をたくさんご用意してお待ちしています! (桑田)



Vol.24
7-8月号

